

Nichiren Shu News

Published by the Head Office of Nichiren Shu Buddhism & NOPPA

No. 239

August 1, 2020

1

Kyo-ga-take of Mt. Fuji, Where Our Founder Buried the Lotus Sutra

By Rev. Sensho Komukai

『経ヶ岳～宗祖埋経の地』



立正安国論で他国侵逼難を予言され、国の危機を感じ、法華経信仰による国家の安泰と人々の平和を願い、1269年5月、塩谷平内左衛門の案内により富士山に登られ姥ヶ懐に百日籠り法華経を読誦しました。そして自ら書写された法華経を経ヶ岳に埋経し国家安泰を祈られました。

明治の神仏分離令で廃仏稀釈が起こり経ヶ岳は荒廃しましたが、昭和29年、身延山第八十六世、藤井日静猗下が復興頭彰し、常唱殿と日蓮聖人の銅像を建立されました。



Nichiren Shu in Shikine-jima Island

By Rev. Kosei Uchida

『式根島の日蓮宗寺院』

新島から2キロの所に式根島がある。島で唯一の寺院は日蓮宗東要寺で、普段から墓参りや参拝者で賑わう。島の信仰が強い理由には古くから漁で生活の糧を得てきたからだ。海へ乗り出せば人間一人の力ではどうにもならない。生きるために自然と両手を合わせる。島民は日々諸仏諸天に、お祖師様に感謝して暮らしている。

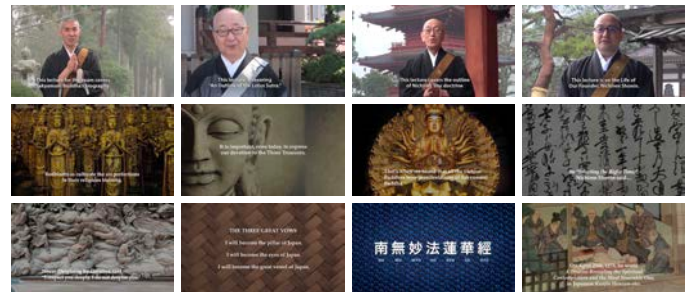


Creating Lecture Videos for the 'Kentei Exam'

By Rev. Kanjo Bassett, Shumuin

『外国人向け検定試験教材』

本宗沙弥が教師になるためには、身延山大学で講義を受け、筆記と口述試験を受けることになっているが、外国人沙弥にとっては長年にわたり日本語授業と試験が大きなハードルとなってきた。そこで今回ようやく検定制度を整えた。「仏教の教え」を英訳し、講義をまとめたDVDを学習して筆記試験を受けてもらい、試験官とスカイプを通して口述試験ができるようになった。今回、受講者全員が合格した。



Climbing Shichimensan

By Rev. Kanjo Bassett, Shumuin

『七面山登詣』

今年1月に36歳でなくなった甥の供養の為、身延山と七面山に登った。読経と回向を済ませ、翌朝、ご来光を拝みながら、宗祖のお言葉「天晴れぬれば、地明らかなり。法華を識る者は、世法を得べきか。」を思い浮かべて世界中で蔓延するコロナ禍の早期終息を願った。



Memories of Rev. Hoyu Maruyama

By Rev. Keiryu Shima

『追悼丸山上人』

1980年4月1日、日蓮宗新聞社で丸山上人に初めてお会いした。記者として有能で宗門事情にも精通していたため、英文ニュースのアドバイザーになって助けていただいたこと、大変感謝しております。

丸山上人は令和2年4月4日、79歳でご遷化なされました。



Minobusan Kuonji Temple

Rev. Sandra Seki, Temple Events Editor

『24時間唱題祈願リレー』

6月6日から24時間唱題祈願リレーが身延山久遠寺発信の元、始まりました。オンラインで唱題し、コロナ犠牲者の追悼とコロナ禍の終息を祈願するものです。



Kannon Temple of Nevada

Rev. Shoda Kanai

『諸行無常』

州政府が出した「ステイホーム」方針を守る人もいれば、経済優先でこれに抗議する人もいます。仏教では諸行無常を説く。あらゆるものは因果応報で良くも悪くも変化する。我々は良い方向に変わって行かなければならない。その一助となるように祈り続ける。



Nichiren Mission of Hawaii

Rev. Shokai Kanai

『ズーム勉強会とお盆供養』

5月からオンライン形式で法華経講義や読経練習、日曜礼拝を行うようになった。ハワイだけでなく、カリフォルニアや東京からの参加者もあった。

お盆供養会は7月12日に厳修され、塔婆供養と灯籠流しも行われる。



Enkyoji Temple Seattle

Rev. Kanjin Cederman

『日蓮宗紹介』

日本人彫刻家から日蓮宗について紹介して下さいと依頼があった。ユーチューブで“What is Nichiren Shu?”を検索するとご覧いただけます。

